



▲百瀬さんおすすめの桃 あかつき (左側) と赤宝 (右側)

Q それぞれの特徴を教えてください。

A 「赤宝」は、きれいな濃い赤色が特徴です。「あかつき」は、やや赤みの差した乳白色の果肉で甘みが強くてほどよい酸味が特徴です。「なつっこ」は、須坂市にある長野県農業関係試験場で品種改良された桃で、控えめの酸味とスツキリとした甘さの果肉が特徴です。「おしろき」は、長野県佐久市で白鳳の枝変わりとして発見された桃で、果肉が硬くやわらかくならないのが特徴で甘みもあります。「さくら白桃」は、桃の中でも特に収穫が遅い品種でパリッとした歯ごたえが特徴です。

今回取材を受けていただいた方は、梓川で果樹を中心に農業を営む百瀬洋平さんです。実はここ梓川は、数十年前からまでは桃の産地として桃の生産者が多かったのですが、今は数える程しかなくなっています。桃の産地として

梓川では  
桃が  
すごかった!!  
実は

# 梓川公民館報

梓川の  
世帯数・人口

世帯数	4,784 戸
人口	12,355 人
男	6,109 人
女	6,246 人

(令和4年.9.1現在)

て美味しい桃を皆さんに食べてほしいという願いも込めてお答えいただきました。

Q 作っている桃の種類を教えてください。

A 7月に収穫する「赤宝」「櫛形白桃」、8月上旬に収穫する「あかつき」、8月中旬から下旬に収穫する「なつっこ」「おしろき」、9月中旬収穫の「さくら白桃」があります。

Q 農業に対するこだわりを教えてください。

A 自然のままに作ることをポリシーとしています。木自体に無理をさせないことが、美味しい桃を作る秘訣だと思います。夏の果物なので、夏の時期には是非梓川の美味しい桃をご賞味ください。

Q 一押しはどの桃ですか？

A 味にブレがないこと、果肉が大きいのが特徴の「あかつき」と「なつっこ」です。

Q どれですか？

A 味にブレがないこと、果肉が大きいのが特徴の「あかつき」と「なつっこ」です。

## NICE GUY

### 新消防団員に期待

梓川消防団第37分団の新人幹部訓練の取材で、永原明彦分団長から頼もしい団員として紹介されたのが、小出澤幸汰さんで、写真のとおり明るい大学3年生でした。

大学で防災士の授業を受けて地域防災に興味を持ち、消防団員募集のポスターを見て、自ら松本市消防防災課へ応募の連絡をした行動力のある青年です。小出澤さんは「早速5月に団の見学をして、定例会で自己紹介をし、団活動

### 御浜町ふれあい交流会が本年度も中止に

梓川地区子ども会育成会による三重県御浜町とのふれあい交流会には、梓川小学校5・6年生のリーダー研修会参加者14人が8月3日から5日に、御浜町を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルスの急拡大により急きよ中止となりました。

リーダー研修会では、御浜町の3校12人の児童に梓川の魅力について話ができるように、自分たちの住む梓川地区のりんご栽培の特色、扇状地の内容を聴いていたので、今日は緊張したけれど参加できました。先輩が気持ちよく受け入れてくださったので、気分わずに入団できました。」と話しました。初めての規律訓練では、統率の取れた現場活動で安全確保を図るために、37分団員として、右向け右、回れ右などの訓練を熱心に練習していました。

消防団員が減少している中で、意欲ある新団員は貴重な存在です。本紙をご覧いただく若い皆さんに対しては「地域のために頑張りたい。入団には勇気がいったが、消防団の皆さんに受け入れてもらって良かった。皆さんも地域防

災のために、気軽に門をたたいてほしい」と話してくれました。他の分団にも新入団員が加わって、訓練が行われています。

多くの方に続いてほしいと願います。



▲消防団に入団した小出澤さん (大学3年)

これからの梓川地区の公共交通について考える

説明を受けました。

現状と課題

7月21日(木)梓川公民館において、梓川地区路線バス再編に係る住民説明会が開催されました。この再編案は、昨年実施された公共交通アンケート調査などの結果を参考に、まちづくり協議会から市へ提言した内容を反映した形で市から示されたものでした。梓川地区からは各町会の代表など14人が出席し、松本市交通部公共交通課の職員から



▲市公共交通課から説明を受ける参加者

利用者の少ないJR路線の見直しについて全国的な話題となつていますが、松本市でも公共交通全体の利用者減に民間の運営会社だけでは対応できなくなつたことが、この再編案の背景にあります。この解決策として令和5年度から松本市内のバスすべてに松本市がかかわることで市民の足を確保する方向となりました。

再編案

市はこれまでの利用状況を精査し、現状維持、再編、新設の各対象路線を決めました。この中で、私たち梓川地区に最も身近な西部地域コミュニティバスC線も1便あたりの利用者数が3・17人(収支率11%)であり、今回の再編対象路線のひとつとなつていきます。説明会ではこのC線の変更案を中心に説明が行われました。

現状のC線は八景山公民館

新村駅、アイシティ21(波田駅経由)を起点としたルートとなつていますが、変更後は、

波田駅までは接続するものの、波田駅・アイシティ21間はC線ではなく別の系統であるD線に統合することとなります。また、カインズホーム梓川店・新村駅間は廃止して、代わりにカインズホーム梓川店からJR梓橋駅方面にルートを変更します。朝のスクールバスは継続されます。朝夕に通学・通勤としても利用できるように八景山公民館と梓橋駅間を各2便運行されますが、それ以外の時間帯は波田駅・カインズ経由梓橋駅間の運行となります。

梓川を

きれいに

梓川水系をきれいにする会とまちづくり協議会によって、梓川左岸の八景山から氷室までの一斉清掃と、下立田一本松から氷室のサルビア手前までの堤防上の桜ひこばえなどの除去作業、本神沢のアレチウリなどの除去作業が8月21日に行われました。参加者は、剪定ばさみなどで桜の枝を整え、つる草などを除去する作業に汗を流していました。太田正道会長は、「コロナ禍で落ち込みがちだけど、少しスツ

今後の予定

今後の市全体のスケジュールとしては、令和5年4月から、現在の運行事業者3者として市による6か月間の官民連携による運行を開始してルートによる安全性や持続性などの検証を行った後に、プロポーザル(企画競争入札)で決定する運行事業者1者による運行を10月から開始して5年間継続することが示されました。

説明会では最後に質疑が行われ、会場からはバス停場所運行ダイヤなどについて活発

に質問が出されました。これに対して、「既存の路線部分については要望があれば知らせたい。ただしバス停間は300〜500m程度の間隔であることや、横断歩道の前

後5m離れる、危険箇所には設置できないなどの制約がある。運行ダイヤについても、JRのダイヤを考慮する予定だが、通学時間との兼ね合いもあるのでご意見があればいただきたい」などの回答がありました。



▲堤防上の桜ひこばえなどの除去作業

キリした気持ちになれた。来年も桜の花がきれいに咲きますように」と願っていました。作業で回収した桜の枝や葉など約950キログラムはチップにされて再利用されるそうです。暑い中をお疲れさまでした。